docomo

docomo NEXT series

XPERIA Z SO-02E

クイックスタートガイド

'13.1

詳しい操作説明は、SO-02Eに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 午前9:00〜午後8:00（年中無休）
故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 24時間（年中無休）
●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）
モバイル・リサイクル・ネットワーク
Li-ion 00

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

1270579722
SONY
'13.1（2版）1270-5797.2

はじめに

「SO-02E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、必ず同梱の「SO-02Eのご利用にあたっての注意事項・安全上／取り扱い上のご注意」および本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

SO-02Eの取扱説明書について

- SO-02Eの操作説明は、本書のほかに、本端末用アプリケーションの『取扱説明書』で詳しく説明しています。『取扱説明書』アプリでは、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。
『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で▶［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。
アプリケーションのダウンロードおよびアップデート時には、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- パソコンなどでご覧いただける『取扱説明書』（PDFファイル）は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- SO-02Eに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/use_support/product/so-02e/

操作説明文の表記について

本書では、操作手順にアイコンなどを使用することにより、簡略化して次のように記載しています。
（例）ホーム画面から（アプリケーションボタン）をタップしてアプリケーション画面を表示し、「カメラ」をタップして起動する操作の場合

1 ホーム画面で▶［カメラ］をタップする

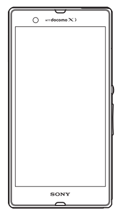
❖お知らせ
- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書では「SO-02E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書はホームアプリが「ドコモ」の場合で説明しています。
本端末で利用するアプリ（ホームアプリ、ロック画面、電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリ）を一括で切り替える場合は、ホーム画面で［優先アプリ設定］▶［OK］をタップします。また、ホーム画面で▶［設定］▶［Xperia™］▶［優先アプリ設定］▶［一括設定］をタップしても切り替えられます。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

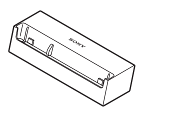
本体付属品を確認する

- SO-02E本体（保証書含む）

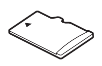


- クイックスタートガイド（本書）

- SO-02Eのご利用にあたっての注意事項
安全上／取り扱い上のご注意
- 卓上ホルダ SO15（保証書含む）

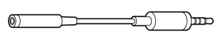


- microSD カード（2GB）※（試供品）（取扱説明書含む）

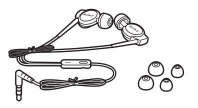


※お買い上げ時は、本端末に取り付けられています。

- ワンセグアンテナケーブル SO01



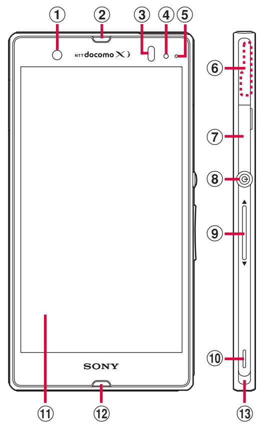
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）（取扱説明書含む）

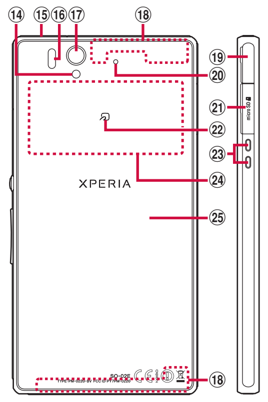


お使いになる前の準備

各部の名称と機能

① フロントカメラレンズ
② 受話口
③ 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止
④ ライトセンサー：画面の明るさの自動制御
⑤ 通知LED：充電状態、メールの受信通知、着信通知
⑥ GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※1
⑦ ドコモminiUIMカード挿入口
⑧ 電源キー／画面ロックキー：ⓘ
⑨ 音量キー／ズームキー：◁ ▷
⑩ スピーカー
⑪ タッチスクリーン
⑫ 送話口（マイク）
⑬ ストラップホール
⑭ フラッシュ／フォトライト
⑮ ヘッドセット接続端子
⑯ 赤外線ポート
⑰ カメラレンズ
⑱ FOMA／Xiアンテナ部※1
⑲ microUSB接続端子：充電時やMHL接続時に使用
⑳ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制
㉑ microSDカード挿入口
㉒ マーク
㉓ 卓上ホルダ用接触端子
㉔ NFC／FeliCaアンテナ部※1
㉕ 裏面カバー※2





※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
※2 裏面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

❖注意
- 各センサー上にシールなどを貼らないでください。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。

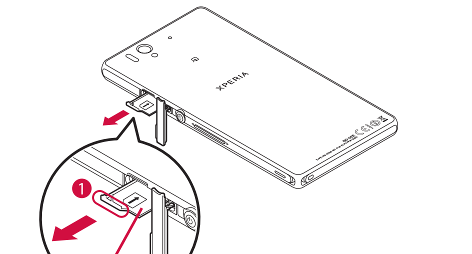
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が登録されているICカードです。
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

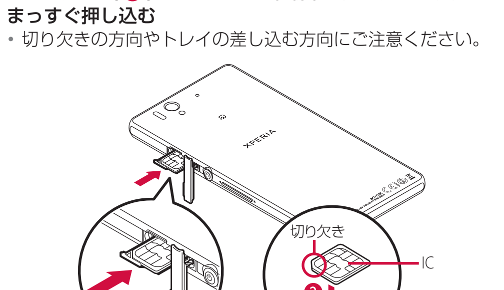
■ドコモminiUIMカードを取り付ける

お買い上げ時はトレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。仮のカードを抜いてから、ドコモminiUIMカードを取り付けてください。仮のカードが挿入されていると、電源を入れたり、充電することができません。

1 ドコモminiUIMカード挿入口カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、トレイの縁の突起部（❶）に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す



2 ドコモminiUIMカードのIC（金属）部分を上にしてトレイにはめ込み（❷）、トレイごと本端末に差し込んで奥までまっすぐ押し込む
- 切り欠きの方向やトレイの差し込む方向にご注意ください。



3 ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

■ドコモminiUIMカードを取り外す

1 ドコモminiUIMカード挿入口カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、トレイの縁の突起部に指先をかけてまっすぐに引き出し、本端末からトレイを取り外す

2 トレイからドコモminiUIMカードを取り出し、本端末にトレイを差し込んで奥までまっすぐ押し込む
- トレイの差し込む方向にご注意ください。

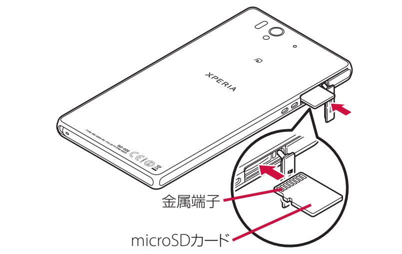
3 ドコモminiUIMカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

❖お知らせ
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードを使用します。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

■microSDカードを取り付ける

1 microSDカード挿入口カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む
- microSDカードの金属端子面を上にして差し込みます。



2 microSDカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

■microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外す場合は、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行ってください。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］▶［OK］をタップする
- マウント解除を行うと、ステータスバーに「SDカードのマウントを解除しました」と表示され、microSDカードが読み書きできなくなったことをお知らせします。

2 microSDカード挿入口カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、microSDカードをカチッと音がするまで奥へ押し込み、microSDカードをゆっくり引き抜く
- ステータスバーに「SDカードが取り外されています」と表示され、microSDカードが取り外されていることをお知らせします。

3 microSDカード挿入口カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

充電する

お買い上げ時の内蔵電池は十分に充電された状態ではありません。充電してからご使用ください。
- お買い上げ時はトレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。必ずトレイから仮のカードを抜いて充電してください。仮のカードが挿入されていると充電できません。
- 充電には対応のACアダプタやmicroUSB接続ケーブルをご使用ください。対応充電器以外をご利用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります。
- ACアダプタのケーブルやmicroUSB接続ケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。

❖お知らせ
- 充電を開始すると、本端末の通知LEDが赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で▶［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、ステータスバーや「電池残量」には「100%」と表示され、画面ロック解除画面には「充電完了」と表示されます。
- 電源オフの状態で充電を開始すると、操作はできませんが本端末の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

■卓上ホルダを使う

付属の卓上ホルダ SO15とACアダプタ 04（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 卓上ホルダの裏側の充電端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を下にして差し込む（❶）

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

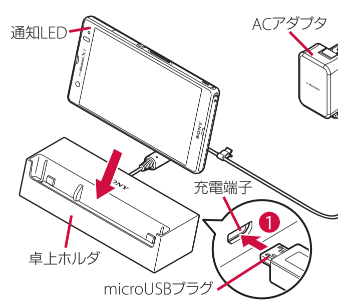
3 卓上ホルダに本端末を奥まで差し込む
- 本端末の通知LEDが点灯します。

4 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を上

方向に持ち上げて取り外す

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6 ACアダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダから抜く



❖注意
- 卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。

■ACアダプタを使う

ACアダプタ 04（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

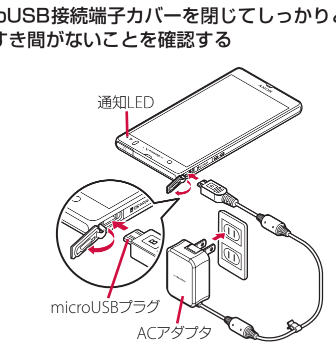
1 本端末のmicroUSB接続端子カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、ACアダプタのmicroUSBプラグを刻印面（B）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
- 本端末の通知LEDが点灯します。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5 microUSB接続端子カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する



■パソコンを使う

microUSB接続ケーブル 01（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

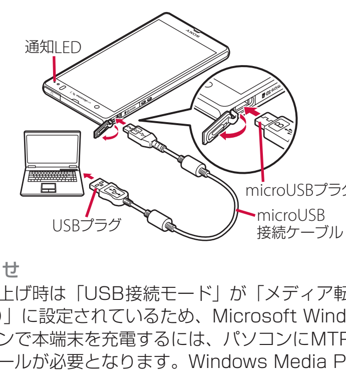
1 本端末のmicroUSB接続端子カバーのミゾに指先をかけてカバーを開き、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを刻印面（⭠⭢）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む
- 本端末の通知LEDが点灯します。
- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、［スキップ］をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

3 充電が完了したら、microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから抜く

4 microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを本端末から水平に抜く

5 microUSB接続端子カバーを閉じてしっかりと押し、本端末とすき間がないことを確認する

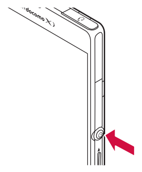


❖お知らせ
- お買い上げ時は「USB接続モード」が「メディア転送モード（MTP）」に設定されているため、Microsoft Windows XPのパソコンで本端末を充電するには、パソコンにMTP driverのインストールが必要となります。Windows Media Player 10以降をインストールすると、MTP driverをインストールすることができます。

電源を入れる（初期設定）

電源を入れる

1 ⓘを1秒以上押す
- 本端末が振動し、しばらくすると画面ロックの解除画面が表示されます。
- 初めて電源を入れたときは、画面を上下にフリック（スワイプ）して画面ロックを解除し、初期設定を行います。



❖注意
- お買い上げ時は、トレイにオレンジ色の仮のカードが挿入されています。必ずトレイから仮のカードを抜いて電源を入れてください。仮のカードが挿入されていると電源が入りません。

■電源を切る

1 ⓘを1秒以上押す

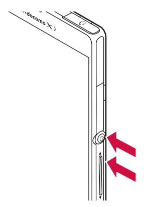
2［電源を切る］をタップする

3［OK］をタップする

■再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなった場合に、本端末を再起動したり、強制終了して電源を切ることができます。

1 ⓘと◁ ▷の上を同時に約5秒間押す



2 本端末が1回振動した後に指を離す
- 本端末は再起動されます。

❖お知らせ
- 本端末の電源を強制的に切るには、ⓘと◁ ▷の上を同時に約10秒間押し、本端末が3回振動した後に指を離します。

画面のバックライトをオンにする

誤動作防止と省電力のため、設定時間を経過すると、本端末は画面を消灯して画面ロック状態になります。次の操作でバックライトを点灯させ、画面ロックを解除してください。

1 ⓘを押す
- バックライトが点灯し、画面ロックの解除画面が表示されます。

2 をタップする
- 消灯前の画面が表示されます。

❖お知らせ
- バックライト点灯中に、消灯させて画面ロックをかける場合は、ⓘを押します。

初期設定を行う

本端末の電源を初めて入れたときは、画面を上下にフリック（スワイプ）して画面ロックを解除し、画面の指示に従って初期設定を行います。

1［日本語］▶［完了］▶➔をタップする
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、➔または［終了］をタップします。
  - Wi-Fiネットワークに接続
  - Sony Entertainment Networkに接続
  - オンラインサービスのアカウント設定や自動同期の設定
  - 優先的に利用するアプリケーションを選択

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら をタップする
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、をタップします。
  - アプリを一括でインストールするかを選択
  - おサイフケータイの初期設定を行うかを選択
  - ドコモアプリパスワードを設定
  - 位置検索を要求された場合の動作を設定

3［OK］をタップする
- ホーム画面の操作ガイドが表示されますので、［OK］／［以後表示しない］をタップすると、ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ
- 後から言語を変更する場合は、ホーム画面で▶［設定］▶［言語と入力］▶［地域／言語］をタップします。各機能などを設定する場合は、ホーム画面で▶［設定］▶［セットアップガイド］／［ドコモサービス］などをタップして設定します。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GPRS）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。接続状態を知るには、「主なステータスアイコン」（P.15）をご参照ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

Wi-Fiネットワークに接続する

Wi-Fi機能を利用すると、自宅、社内ネットワーク、公衆無線LANサービスなどの無線アクセスポイントに接続できます。
- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。

- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE/WCDMA/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。

1 ホーム画面で▶［設定］をタップする

2 Wi-Fiのをタップまたは右にドラッグする

3［Wi-Fi］をタップする
- 自動的に利用可能なWi-Fiネットワークをスキャンして、一覧を表示します。

4 接続したいWi-Fiネットワークを選択する
- セキュリティ保護されているネットワークを選択した場合は、パスワードを入力して［接続］をタップします。

❖お知らせ
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、「保存済み、WEPで保護」「保存済み、WPA/WPA2で保護」「保存済み、802.1xで保護」「インターネット接続不良により無効」※「認証に問題」「接続が制限されています」のいずれかが表示されます。パスワードをご確認ください。なお、正しいパスワードを入力してもいずれかのメッセージが表示される場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
※［接続］をタップしてからメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。ホーム画面で▶［設定］▶［ドコモサービス］▶［ドコモアプリWi-Fi利用設定］▶［Wi-Fiオプションパスワード］をタップして設定します。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更、初期化することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
アクセスポイントの詳細については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

■アクセスポイントを変更する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［その他の設定］をタップする

2［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップし、アクセスポイントを選択する
- アクセスポイントを追加する場合は、▶［新しいAPN］をタップします。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■mopera Uを設定する

1 ホーム画面で▶［設定］▶［その他の設定］をタップする

2［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップし、［mopera U］／［mopera U設定］のラジオボタンにチェックを入れる

❖お知らせ
- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントのご利用は、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

ロック機能

第三者による無断使用を防ぐために、「SIMカードロック」「画面ロック」を利用できます。

■SIMカードロック

ドコモminiUIMカードにPINコードという4〜8桁の暗証番号を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないようにロックする機能です。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］をタップする

2［SIMカードをロック］をタップする

3 PINコードを入力して、［OK］をタップする
- 手順2の「SIMカードをロック」の項目にチェックが入ります。

❖お知らせ
- SIMカードのロックを解除するには、同様の操作で解除できます。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、ロックがかかってPINコードが入力できなくなり、8桁のPINロック解除コード（PUKコード）の入力が必要になります。PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカード自体がロックされます。この場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ご契約時、PINコードは「0000」に設定されていますが、お客様自身で変更できます。PINロック解除コードは変更できません。
- ネットワーク暗証番号、PINロック解除コード、SIMカードロックの詳細については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

■画面ロック

本端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに、画面のロック解除が必要になるように設定します。画面ロックの設定には、「スワイプ／タッチ」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」の5種類があります。

1 ホーム画面で▶［設定］▶［セキュリティ］をタップする

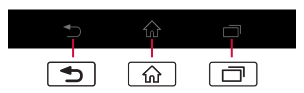
2［画面のロック］をタップする

3［スワイプ／タッチ］／［フェイスアンロック］／［パターン］／［PIN］／［パスワード］をタップする
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ
- 一度設定した画面ロックを無効にするときは、手順2で［画面のロック］をタップし、設定されているロック解除パターン／PIN／パスワードを入力して［設定しない］をタップします。

基本操作

キーアイコンの基本操作

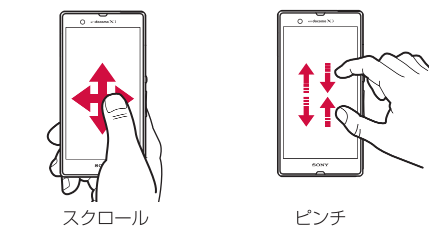


バック	直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。
ホーム	ホーム画面に戻ります。 ロングタッチして、へドラッグすると、「しゃべってコンシェル」または「Google」アプリを起動できます。
最近使用したアプリ	最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動したり、一覧から削除できます。また、スモールアプリを使用したり、設定することができます。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン上では、次の操作ができます。

タップ	画面に軽く触れて指を離します。
ロングタッチ	画面に長く触れます。
フリック（スワイプ）	画面に触れて上下左右にはらうように操作します。
ドラッグ	画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。
スクロール	画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。
ピンチ	画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。



スクロール　　ピンチ

縦／横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示／横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

2［画面の自動回転］をタップする
- 設定がオンになると、（青色）になります。

❖お知らせ
- ホーム画面で▶［設定］▶［画面設定］をタップし、「画面の自動回転」にチェックを入れるか、ホーム画面で▶［設定］▶［ユーザー補助］をタップし、「画面の自動回転」にチェックを入れても設定できます。
- ホーム画面など、表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。

スクリーンショットを撮影する

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。撮影したスクリーンショットは「アルバム」アプリで確認できます。

1 スクリーンショットを撮影したい画面で、ⓘと◁ ▷の下を同時に1秒以上押す
- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ
- ⓘを1秒以上押して、［スクリーンショット］をタップしてもスクリーンショットを撮影できます。

文字を入力する

本端末の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox

Touch（日本語）」に設定されています。メールの作成や電話帳の登録などで文字入力欄をタップすると、画面にソフトウェアキーボードが表示され、12キー、QWERTY、50音、手書きかなの4種類のソフトウェアキーボードを切り替えて文字を入力できます。

■ソフトウェアキーボードを切り替える

1 文字入力欄をタップする

- お買い上げ時は、縦画面は12キーキーボード、横画面はQWERTYキーボードに設定されています。

2 をロングタッチする

3 ／／をタップする
- QWERTYキーボード／50音キーボード／手書きかな入力に切り替えます。

QWERTYキーボード　50音キーボード　手書きかな入力

- をロングタッチすると、／／／／／も表示されます。
  - ：POBox Touch（日本語）の設定画面が表示され、設定を確認・変更できます。
  - ：プラグインアプリの一覧が表示されます。
  - ：半角／全角を切り替えます。
  - ：ソフトウェアキーボードの大きさや位置を変更できます（縦画面のみ）。
  - ：ソフトウェアキーボードを非表示にします。
  - ：12キーキーボードに切り替えます。

❖お知らせ
- 文字入力画面から入力前の画面に戻るときは、またはをタップします。
- 入力したかな文字に対して予測変換候補または直変換候補が表示され、入力したい語句をタップして入力できます。
- をタップすると、「ひらがな漢字」→「英字」と入力する文字種が切り替わります。
- をタップすると、「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力でき、ロングタッチすると、利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
- をタップすると、カーソル位置の前の文字を削除します。
- をタップすると、「ひらがな漢字／英字」→「数字」と入力する文字種が切り替わり、ロングタッチすると、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは、絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
- 12キーキーボードでは、キーを連続してタップするトグル入力のほかに、キーを上下左右方向へフリックするフリック入力で入力できます。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。をタップすると表示され、最大12個のホーム画面を左右にフリックして使用します。ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどのカスタマイズができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① ホーム画面の現在表示位置
② ウィジェット：Google検索
③ ウィジェット：ｉチャネル
④ ウィジェット：マチキャラ
⑤ ショートカット（アプリケーション）
⑥ アプリケーションボタン
⑦ 壁紙

❖お知らせ
- ホームアプリを切り替える場合は、ホーム画面で▶［設定］▶［セットアップガイド］をタップし、優先アプリケーション画面で［今すぐ変更］▶［ホームアプリ］をタップします。また、ホーム画面で▶［設定］▶［Xperia™］▶［優先アプリ設定］▶［ホームアプリ］をタップしても切り替えられます。

■ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にフリックすると、隣り合ったホーム画面に移動できます。

■ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを追加する

ホーム画面は、壁紙を変えたり、アプリケーションのショートカットやウィジェットなどを追加／削除／移動したりできます。

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチする
- 「操作を選択」メニューが表示されます。

ショートカット	アプリケーションのショートカットや、よく電話する連絡先などのショートカットを追加します。
ウィジェット	ウィジェット一覧で追加する項目を選択します。
フォルダ	新しいフォルダを作成します。
きせかえ	ホーム画面やアプリケーション画面の背景を変更したり、ウェブサイトからダウンロードして追加します。
壁紙	アルバム／ライブ壁紙／Xperia™の壁紙の中から画像を選択して壁紙を変更したり、Google Playからインストールして追加します。
グループ	アプリケーション画面のグループのショートカットを追加します。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧を表示して、ホーム画面を追加したり、削除したり、並べ替えできます。
壁紙ループ設定	ホーム画面の壁紙の表示をループさせるかどうかを設定します。

❖お知らせ
- ホーム画面でショートカット、ウィジェット、フォルダ、グループのアイコンをロングタッチすると、そのままドラッグして移動したり、画面下部に表示されるへドラッグして削除できます。また、［削除］をタップしても削除できます。アプリケーションのショートカットやウィジェットをロングタッチして、［アンインストール］▶［OK］▶［OK］をタップすると、アンインストールできるものもあります。

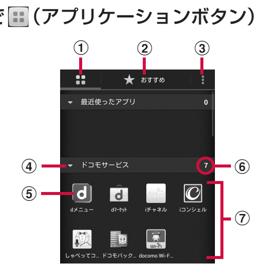
• ホーム画面一覧の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップします。

アプリケーション画面

本端末の各機能をご利用になるには、ホーム画面のショートカットやウィジェットのアイコンをタップして主な機能を操作できますが、ホーム画面にない機能はアプリケーションの一覧画面でアイコンをタップして起動することが基本操作となります。

■アプリケーションを起動する

1 ホーム画面で（アプリケーションボタン）をタップする



① アプリタブ
② おすすめタブ
③ オプションメニューアイコン
④ グループ名
⑤ アプリケーションアイコン
⑥ グループ内アプリケーションの数
⑦ グループ内アプリケーション

2 上下にフリックして使うアプリケーションのアイコンをタップする

❖お知らせ
• アプリケーション画面の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップします。
• アプリケーション画面で、アプリケーションアイコンやグループ名をロングタッチして、［ホームへ追加］をタップすると、ホーム画面にアプリケーションやグループのショートカットが追加されます。

本端末の状態を知る

■自分の電話番号を表示する

次の操作で電話番号のほか、電池残量など端末の状態を確認できます。

1 ホーム画面で▶［設定］をタップする
2［端末情報］▶［端末の状態］をタップする
•「電話番号」欄に電話番号が表示されます。

■通知LEDについて

通知LEDの点灯、点滅により、充電を促したり、充電中の充電状況、メールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が14%以下であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	新着Gmailがあることを示す※
薄紫の点滅	不在着信／新着メッセージ（SMS）があることを示す※
橙色の点灯	充電中に電池残量が15%～89%であることを示す

※ 画面ロック解除画面やバックライト消灯中、画面ロックを無効に設定している場合は、通知LEDが点滅します。

❖お知らせ
• 電源オフの状態で充電を開始すると通知LEDが赤く点灯しますが、ディスプレイに電池の状態が表示されると、電池残量を示す色で通知LEDが点灯します。
• 電池残量が14%以下になると、「充電してください」と表示されます。［電池情報］をタップすると、電池の使用量を確認したり、省電力モードを設定したりできます。

■ステータスバーについて

画面上部のステータスバーには、右側に本端末の状態（ステータス）、左側にメールの新着通知情報などがアイコンで表示されます。

ステータスバー

■主なステータスアイコン

：電波状態
：国際ローミング使用可能
：国際ローミング通信中
：圏外
：HSDPA使用可能
：HSDPA通信中
：3G（パケット）使用可能
：3G（パケット）通信中
：LTE使用可能
：LTE通信中
：Wi-Fi接続中
：Wi-Fi通信中
：Auto IP機能でWi-Fi接続中
：Bluetooth機能をオンに設定中
：Bluetoothデバイスに接続中
：機内モード設定中
：マナーモード（バイブレーション）に設定中
：マナーモード（ミュート）に設定中
：スピーカーフォンをオンに設定中※
：送話口（マイク）をミュートに設定中※
：アラーム設定中
：NFCのReader/Writer, P2P機能をオンに設定中
：電池の状態
：充電中
：電池残量が少ない状態（4%以下）
：PINロック解除コードロック中、またはドコモminiUIMカードが未挿入

※ 通話中画面では表示されませんが、ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

■主な通知アイコン

：新着Eメールあり
：新着Gmailあり
：新着メッセージ（SMS）あり
：メッセージ（SMS）の配信に問題あり
：新着インスタントメッセージあり
：新着エリアメールあり
：スクリーンショットあり
：新着Facebookメッセージあり
：Facebookへデータアップロード中
：Facebookへデータアップロード完了
：Facebook機能の設定要求通知あり
：データを受信／ダウンロード
：データを送信／アップロード
：Bluetooth通信でデータなどの受信通知あり
：microSDカードのマウント解除（読み書き不可）

：microSDカードが取り外されている状態
：microSDカードの準備中
：アップデート通知／インストール完了（Google Playに更新可能なアプリケーションあり／アプリケーションのインストール完了）
：ソフトウェア更新通知あり
：ソフトウェア更新ダウンロード中
：ソフトウェア更新ダウンロードまたはインストール完了
（青色）：NFC／おサイフケータイ ロック設定中
（青色）：本端末またはドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
（赤色）：おまかせロック設定中
（赤色）：本端末またはドコモminiUIMカードにおまかせロックを設定中
：着信中、発信中※、通話中※
：通話保留中※
：不在着信あり
：留守番電話あり
：カレンダーの予定あり
：ストップウォッチ計測中
：タイマー設定中
：アラーム鳴動中
：楽曲をメディアプレイヤーで再生中
：楽曲をWALKMANで再生中
：ワンセグ起動中
：FMラジオ使用中
：USB接続中
：MHL接続中
：TV launcherの起動が可能な状態
：スクリーンミラーリング接続中
：赤外線通信中
：モバイルデータ通信無効
：Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
：VPN接続中
：本端末をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
（赤色）：エラーメッセージ
（黄色）：注意メッセージ
：同期に問題あり
：セットアップガイド未確認
：表示しきれていない通知あり
：パーソナルエリアなどの通知あり
：Wi-Fiテザリング設定中
：USBテザリング設定中
：Wi-FiテザリングおよびUSBテザリング設定中
：GPS測位中
：オートGPS設定中
：Green Heart省エネアイコン（コンセントからACアダプタを外してください）
：おまかせロック設定中
：本端末のメモリの空き容量低下

※ 発信中や通話中画面では表示されませんが、ホーム画面などの別の画面に切り替えると表示されます。

■通知パネルを開く

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開き、通知アイコンの内容を確認できます。

❖お知らせ
• をタップして通知パネルを閉じます。
• 通知パネルを開いて、画面の明るさを切り替えたり、モバイルデータ通信の有効／無効などを設定できます。
• 通知パネル内の表示を削除するには、通知パネルで［すべて削除］をタップするか、通知パネル内の通知を左右にフリックします。
• 通知内容によっては通知を削除できない場合があります。

■マナーモードを設定する

着信音量を0に設定します。本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。また、着信音や通知音の音量を調節したり、の上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されますのでご注意ください。

1 を1秒以上押す
2 ／をタップする
• をタップするとミュート（着信音量0）になり、をタップするとバイブレーションになります。

❖お知らせ
• ステータスバーを下にドラッグしてをタップするとバイブレーションに設定でき、をタップするとミュート（着信音量0）に設定できます。

■機内モードを設定する

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 を1秒以上押す
2［機内モード］をタップする

❖お知らせ
• ステータスバーを下にドラッグして［機内モード］をタップしても、機内モードのオン／オフを設定できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップする
2 電話番号を入力し、をタップする
• 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして消すことができます。

3 通話が終了したら［通話終了］をタップする

❖お知らせ
• ホーム画面で▶［ダイヤル］をタップすると、XperiaTMの電話アプリを起動することができます。
• 手順2で、電話番号が未入力の状態でをタップすると、発信履歴の最新の電話番号が入力されます。

緊急通報

本端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

1 ホーム画面で▶「ダイヤル」タブをタップする
2 緊急電話番号を入力し、をタップする
• 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして消すことができます。

3 通話が終了したら［通話終了］をタップする

❖注意
• 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
• 画面ロックの解除画面などで［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。ただし、日本国内では、PINコード入力画面、PINコードロック中、PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
• 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。

お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
• 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
• かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

電話を受ける

1 着信時に（左）をロングタッチして（右）へドラッグする
• 画面ロックを設定中でも同様の操作で応答できます。

2 通話が終了したら［通話終了］をタップする

■着信音を聞こえないようにする

1 着信時に／を押す

❖お知らせ
• ホーム画面などでの上下を押すと、着信音量を調節できます。

■着信を拒否する

1 着信時に（右）をロングタッチして（左）へドラッグする

通話中の操作

保留	通話中にをタップして、［保留］をタップします。保留の解除は、保留中に［保留解除］をタップします。 • 保留を設定するには、「キャッチホン」の契約が必要です。
（電話帳）	通話中に電話帳一覧画面を表示します。
（スピーカー）	スピーカーフォンのオン／オフを設定します。 • 通話相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
（ミュート）	通話中の送話口（マイク）の消音のオン／オフを設定します。
（ダイヤルキー）	追加したい電話番号を入力して電話をかけます。 • 最初の通話は自動的に保留中になります。 • 通話を追加するには、「キャッチホン」の契約が必要です。
通話終了	通話を終了します。

❖注意
• 聴力を損わないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

■通話音量を調節する

1 通話中にを押して調節する

発着信履歴を表示する

発着信履歴には、不在着信履歴（）、着信履歴（）、および発信履歴（）などが時系列で一覧表示されます。一覧の右端のをタップして電話をかけることができます。

1 ホーム画面で▶「発着信履歴」タブをタップする
• 発着信履歴画面が表示されます。発着信履歴に表示された履歴をタップすると、電話の発信やメッセージ（SMS）の送信などを行うことができます。

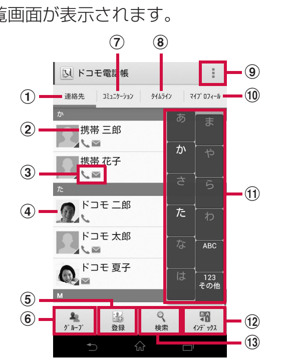
■発着信履歴を削除する

1 発着信履歴画面で削除したい発信履歴／着信履歴をロングタッチする
2［通話履歴から削除］▶［OK］をタップする

❖お知らせ
• 着信履歴または発信履歴を全件削除する場合は、発着信履歴画面で「着信」タブ／「発信」タブをタップし、▶［全件削除］▶［OK］をタップします。
• 発着信履歴を全件削除する場合は、発着信履歴画面で「全て」タブをタップし、▶［全件削除］▶［OK］をタップします。

電話帳

1 ホーム画面で▶［ドコモ電話帳］▶「連絡先」タブをタップする
• 電話帳一覧画面が表示されます。



① 連絡先タブ
② 電話帳に登録された名前
③ 登録内容
・登録内容がアイコンで表示されます。
④ 電話帳に設定された写真
⑤ 登録
⑥ グループ
・表示するグループを選択します。
⑦ コミュニケーションタブ
・電話発着信、メッセージ（SMS）の送受信、spモードメール、SNSのメッセージ※の送受信履歴が表示されます。
※クラウドを利用開始の上、「マイSNS」機能を利用している場合のみ表示されます。
⑧ タイムラインタブ
・「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。
⑨ オプションメニュー
⑩ マイプロフィールタブ
・自分の電話番号を確認できます。
⑪ インデックス文字表示域
・インデックス文字をタップすると、インデックス文字に振り分けられている電話帳を表示します。

⑫ インデックス
・インデックス文字を表示し、五十音順、アルファベット順などで検索できます。
⑬ 検索

❖お知らせ
• ホーム画面で▶［連絡先］をタップすると、XperiaTMの電話帳アプリを起動することができます。
• 初めて使用するときは、「クラウドの利用について」画面が表示され、［利用する］をタップすると、クラウドの利用を開始できます。電話帳のクラウドサービスには、ドコモの電話帳アプリが必要となります。
• マイプロフィールには、複数の電話番号やメールアドレス、SNSやブログのアカウントなどを登録できます。また、名刺作成アプリを使って作成した名刺データをマイプロフィールに保存し、名刺データをネットワーク経由で交換することができます。
• microSDカードなどの外部記録媒体を使用して、「ドコモバックアップ」アプリを利用すると、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。操作方法については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

■電話帳を削除する

1 電話帳一覧画面で▶［削除］をタップして、削除する電話帳にチェックを入れる
• すべての電話帳を削除するには「全選択」にチェックを入れます。
•［インデックス］をタップして、削除したい電話帳を検索できます。

2［削除］▶［OK］をタップする

メール／インターネット

spモードメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。

1 ホーム画面でをタップする
2 画面を上にフリックして［ダウンロード］をタップする
• 以降は画面の指示に従って操作してください。

■spモードメールを送信する

1 ホーム画面でをタップする
• 受信フォルダなどが表示されます。新規メールを作成するには、［新規メール］をタップします。

2 メールの作成が終了したら、▶［送信］をタップする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージを送受信できます。

■メッセージ（SMS）を作成・送信する

1 ホーム画面で▶［メッセージ］をタップする
2 （新規作成）をタップする
3 送信相手の電話番号を入力する
• をタップして、連絡先一覧画面から送信相手を選択することもできます。

4［メッセージを作成］をタップして、本文を入力する
5［送信］をタップする

■受信したメッセージ（SMS）を読む

メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で▶［メッセージ］をタップする
2 読みたいメッセージ（SMS）の送信者をタップする
• メッセージ（SMS）本文が表示されます。

Eメール

mopera UメールのEメールアカウント、一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。

■Eメールを送信する

1 ホーム画面で▶［Eメール］をタップする
• 受信トレイなどが表示されます。新規メールを作成するには、（作成）をタップします。

2 メールの作成が終了したら、（送信）をタップする

❖お知らせ
• Eメールアカウントを設定していない場合は、初期設定画面の指示に従って設定します。複数のEメールアカウントを設定することもできます。

Gmail

Googleアカウントを設定すると、Gmailを使用してEメールを送受信できます。

■Gmailを送信する

1 ホーム画面で▶［Gmail］をタップする
• 受信トレイなどが表示されます。新規メールを作成するには、（作成）をタップします。

2 メールの作成が終了したら、（送信）をタップする

❖お知らせ
• Googleアカウントを設定していない場合は、初期設定画面の指示に従って設定します。複数のGoogleアカウントを設定することもできます。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。
• エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

■緊急速報「エリアメール」を受信する

内容通知画面が表示され、ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

■緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で▶［災害用キット］▶［緊急速報「エリアメール」］をタップする
2 ▶［設定］をタップする

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	エリアメール受信時の鳴動時間と、マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの受信登録／削除の設定をします。

❖お知らせ
• ドコモminiUIMカードを挿入していないとエリアメールを設定することはできません。

ブラウザ

ブラウザを利用してインターネットへ接続します。インターネットへ接続するためのプロバイダ（ISP）やアクセスポイントなどの登録・設定は、通常使う接続先（spモード）があらかじめ設定されています。
※ spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■インターネットに接続する

1 ホーム画面でをタップする
• ブラウザが起動すると、お買い上げ時のホームページに設定されているdメニューが表示されます。
• ウェブページ表示中に画面を下にフリックするとやが表示され、タップすると新しいタブを開いたりブラウザの設定を変更したりすることができます。

付録

故障かな？と思ったら

• まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
• 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

● 本端末の電源が入らない
• 電池切れになっていませんか。→P.5

● 画面が動かなくなり、電源が切れない
• との上を同時に約5秒間押し、本端末が1回振動した後に指を離すと本端末は再起動します。またとの上を同時に約10秒間押し、本端末が3回振動した後に指を離すと本端末は強制終了します。→P.7

■充電

● 充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）
• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.6
• アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.6
• ACアダプタ 04（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末や付属の卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P.5、P.6
• 卓上ホルダを使用する場合、本端末の卓上ホルダ用接触端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
• microUSB接続ケーブル 01（別売品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して通知LEDが消灯する（充電が停止する）、または充電が完了しない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作

● 操作中・充電中に熱くなる
• 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。
• 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが熱くなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 電池の使用時間が短い
• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
• 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。
十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

● タップしたり、キーを押したりしても動作しない
• 電源が切れていませんか。→P.7
• 画面ロックを設定していませんか。→P.10

● ドコモminiUIMカードが認識されない
• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.3

● 時計がずれる
• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

● 端末動作が不安定
• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
セーフモードを起動するには、電源を切った状態でを1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたらの下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
※ セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
※ お客様ご自身で作成したウィジェットが消去される場合があります。
※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。
• 開発者向けオプションは開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

● アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。

■通話

● ダイヤルボタンを押しても発信できない
• SIMカードロックを設定していませんか。→P.10
• 機内モードを設定していませんか。→P.17

● 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
• 電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを入れ直してください。→P.3、P.7
• 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない
• おまかせロックを起動すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
• NFC／おサイフケータイをロックしていませんか。
• 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.3

エラーメッセージ

■通信サービスなし

• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
• ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。
ドコモminiUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本端末にあると考えられます。この場合は、本書表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
ドコモminiUIMカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

■メモリ不足です

空き容量がありません。次の操作で不要なアプリケーションを削除して容量を確保してください。
• ホーム画面で▶［設定］▶［アプリ］をタップします。削除したいアプリケーションをタップして、［アンインストール］▶［OK］▶［OK］をタップします。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。
• ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
• スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
• 一部サポート対象外の操作・設定があります。
• スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する
■ スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

2 ホーム画面で▶［遠隔サポート］をタップする
• 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力する
4 接続後、遠隔サポートを開始する

本端末のリセット

本端末の各種設定のリセットやダウンロードしたアプリケーションを削除して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 ホーム画面で▶［設定］をタップする
2［バックアップとリセット］▶［データの初期化］▶［携帯端末をリセット］をタップする
3［すべて削除］をタップする
• 本端末は自動的に再起動して初期設定画面を表示します。

❖お知らせ
• 本端末のリセットの詳細については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

認証および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）について確認できます。

1 ホーム画面で▶［設定］をタップする
2［端末情報］▶［法的情報］▶［認証］をタップする

保証とアフターサービス

保証について

• 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
• この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
• 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書または本端末用アプリケーションの『取扱説明書』の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

● 保証期間内は
• 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
• 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
• ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

● 以下の場合は、修理できないことがあります。
• お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

● 保証期間が過ぎたときは
ご要望により有料修理いたします。

● 部品の保有期間は
本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

● 本端末および付属品の改造はおやめください。
• 火災・けが・故障の原因となります。
• 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- 液晶部やキー部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
• 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

● 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

● 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口部

● 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖注意
• モバイルネットワーク接続を使用して本端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
• 更新の前に本端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
• ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖お知らせ
• ソフトウェア更新について詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
● SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
● 別途SIMロック解除手数料がかかります。
● 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
● SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600＊（無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SO-02Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

■一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151＊
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414＊（無料）
＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SO-02Eからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

■一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600＊
＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。